

2021年度 第2四半期 決算説明会資料

2021年11月5日
株式会社 **きんでん**

kinden

目次

1. 決算概要と通期見通し

(1) 決算概要	… 3	(1 1) 【連結】海外受注・完成工事高の状況	
(2) 通期見通し	… 4		(地域別) … 1 6

2. 業績の状況

(1) 【連結】前年同期比較	… 6	(1 3) 【連結】貸借対照表の状況	… 1 8
(2) 【連結】予想との比較	… 7	(1 4) 【連結】キャッシュ・フローの状況	… 1 9

(3) 【個別】前年同期比較	… 8	3. 業績予想	
(4) 【個別】予想との比較	… 9	(1) 【連結】通期予想	… 2 1

(5) 【個別】工事種別の状況（受注）	… 1 0	(2) 【個別】通期予想	… 2 2
(6) 【個別】工事種別の状況（完成）	… 1 1	4. 株主還元	

(7) 【個別】工事種別手持工事高の状況	… 1 2	配当について	… 2 4
(8) 【個別】完成工事高 受注時期別		5. 参考資料	

(配電工事を除く)	… 1 3	トピックス	… 2 6
-----------	-------	-------	-------

(9) 【個別】販売費及び一般管理費の状況	… 1 4
-----------------------	-------

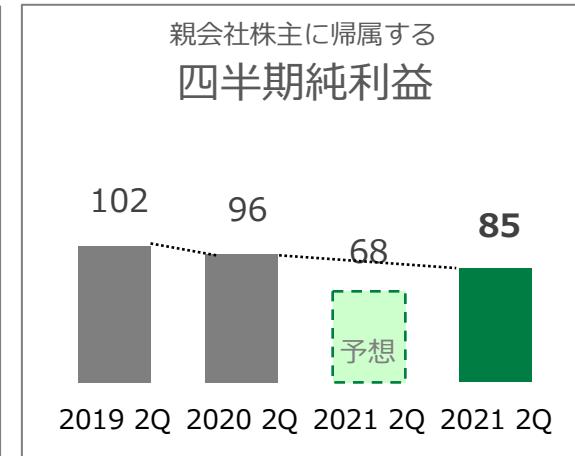
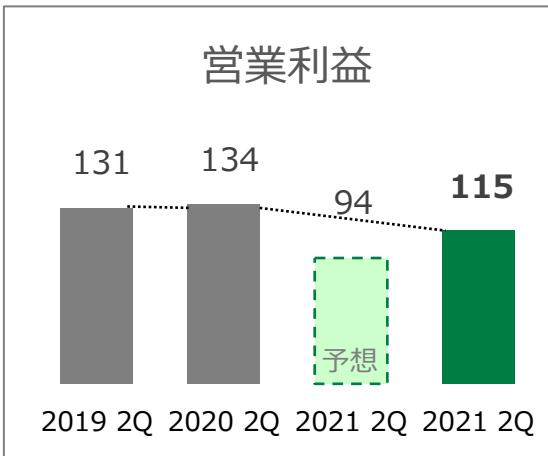
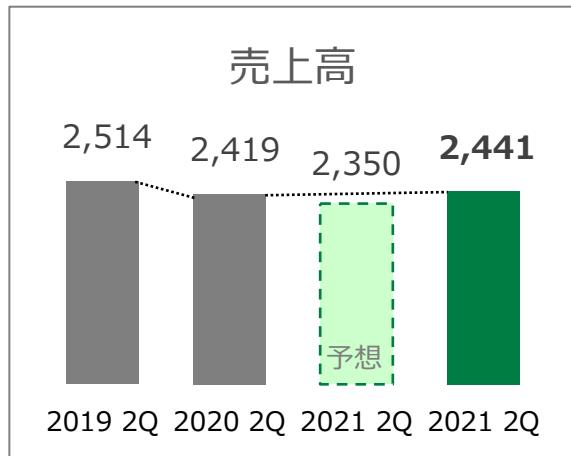
(10) 【連結】完成工事高の増減	… 1 5
-------------------	-------

1. 決算概要と通期見通し

(1) 決算概要

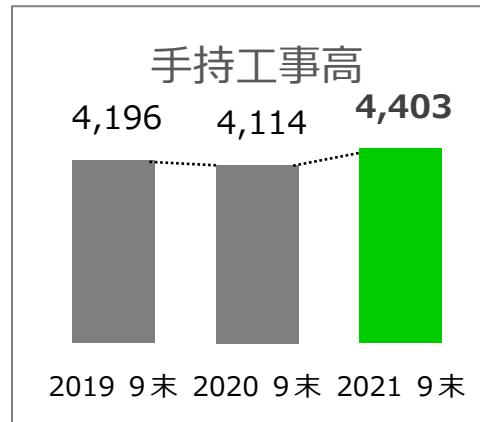
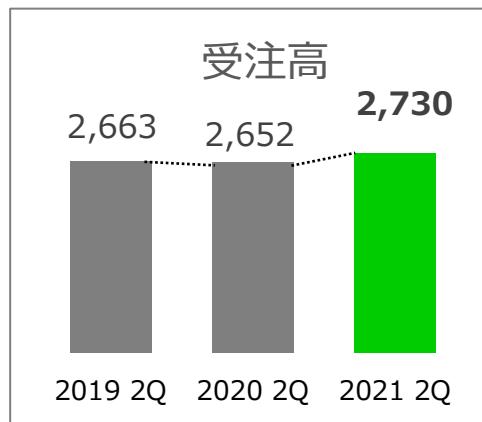
連結

- 連結では増収・減益（個別では若干の減収・減益）
- 緊急事態宣言が長く続く中、（連結、個別共に）業績予想を上回ることができた（単位:億円）



個別

- 個別の受注は、様々な制約がある中で、過去からの継続した営業活動、およびお客様からの信用・信頼により、前年同期を上回る受注工事高を獲得することができた



受注が堅調で、手持工事高は増加している

工事進捗の関係により
減収・減益

(2) 通期見通し

子会社の状況は、国内子会社はほぼ前期並みで推移、海外子会社はハワイを除く東南アジア等でロックダウンの影響などにより厳しい状況



今後、国内市場では受注競争の激化、海外市場ではコロナ禍の影響の継続など、先行き不透明な部分がある



目標達成に向けて、全社を挙げて取り組んでいく

通期業績見通しは、現時点ではほぼ計画通りに推移しており、変更はない

2. 業績の状況

(1) 【連結】前年同期比較

■ 完成工事高は増加、各利益は減少

- 完成工事高は増加したが、完成工事利益率の低下や販管費の増加等により、各利益は減少した

(単位:百万円)

	2020.2Q	2021.2Q	増減	増減率
完成工事高	241,943	244,144	2,201	0.9%
完成工事総利益	41,066	40,062	△ 1,004	△ 2.4%
完成工事総利益率	17.0%	16.4%	△ 0.6	–
販売費及び一般管理費	27,570	28,504	934	3.4%
営業利益	13,496	11,557	△ 1,938	△ 14.4%
営業利益率	5.6%	4.7%	△ 0.9	–
経常利益	14,251	12,593	△ 1,658	△ 11.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,662	8,542	△ 1,119	△ 11.6%
1株当たり四半期純利益	46.40 円	41.68 円	△ 4.72 円	

(2) 【連結】予想との比較

■ 完成工事高、各利益ともに予想を上回った

- ・きんでん個別の各利益が、予想を上回ったことによる
- ・子会社については、予想を若干下回った

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	235,000	244,144	9,144	3.9%
営業利益	9,400	11,557	2,157	23.0%
営業利益率	4.0%	4.7%	0.7	—
経常利益	10,600	12,593	1,993	18.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,800	8,542	1,742	25.6%
1株当たり四半期純利益	33.18 円	41.68 円	8.50 円	

(3) 【個別】前年同期比較

- 受注工事高は増加、完工工事高は若干減少
- 営業利益、経常利益、純利益は工事利益率が低下したことや販管費の増加などにより減少

	2020.2Q	2021.2Q	増減	(単位:百万円)
受注工事高	265,295	273,063	7,767	2.9%
完工工事高	215,397	214,773	△ 624	△ 0.3%
完工工事総利益	35,584	35,004	△ 579	△ 1.6%
完工工事総利益率	16.5%	16.3%	△ 0.2	-
販売費及び一般管理費	23,070	23,538	467	2.0%
営業利益	12,513	11,466	△ 1,047	△ 8.4%
営業利益率	5.8%	5.3%	△ 0.5	-
経常利益	15,499	14,527	△ 971	△ 6.3%
四半期純利益	11,308	10,727	△ 580	△ 5.1%
1株当たり四半期純利益	54.30 円	52.34 円	△ 1.96 円	

(4) 【個別】予想との比較

■ 完成工事高、各利益ともに予想を上回った

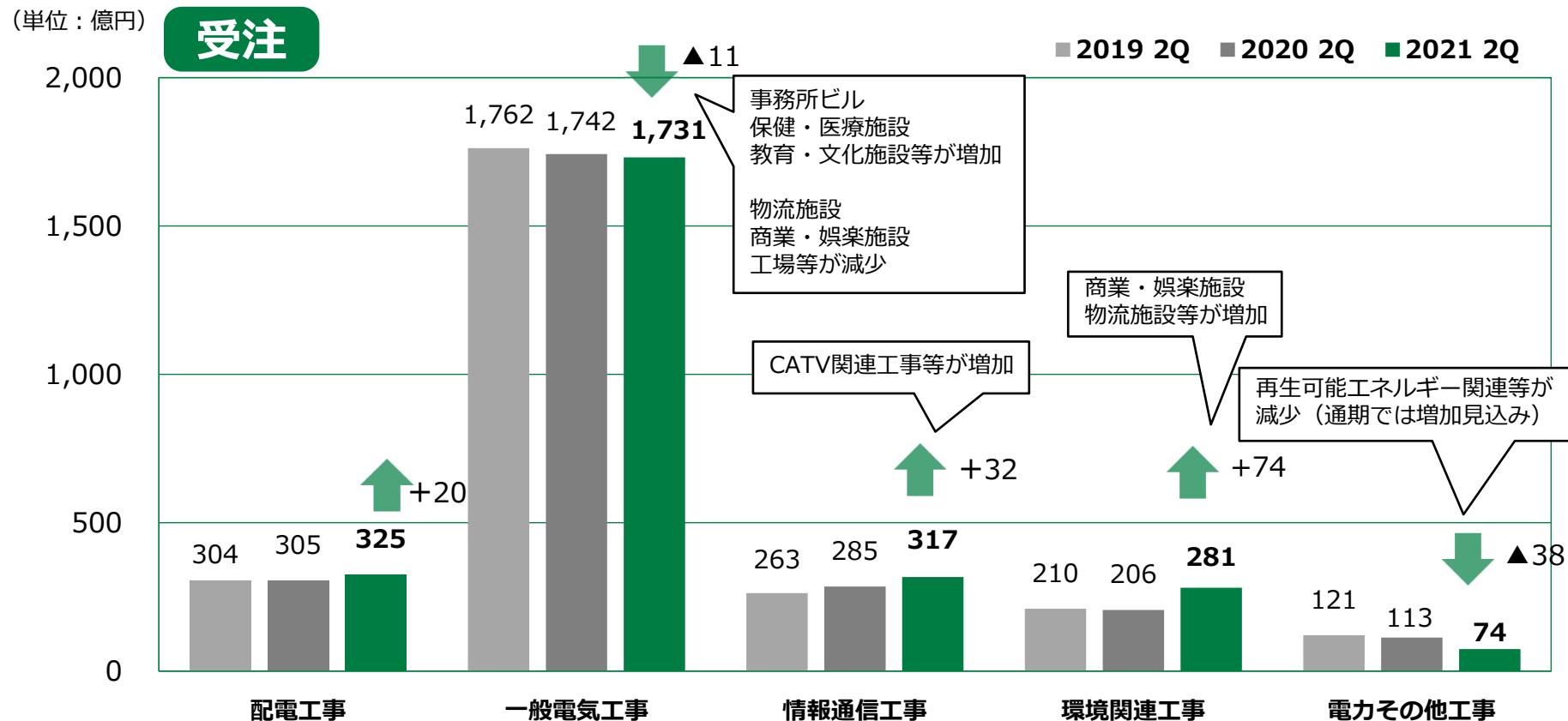
- ・手持工事の進捗が想定以上に伸びたこと、利益率の向上による

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	205,000	214,773	9,773	4.8%
営業利益	9,000	11,466	2,466	27.4%
営業利益率	4.4%	5.3%	0.9	–
経常利益	12,000	14,527	2,527	21.1%
四半期純利益	8,500	10,727	2,227	26.2%
1株当たり四半期純利益	41.47 円	52.34 円	10.87 円	

(5) 【個別】工事種別の状況（受注）

- ・配電工事、情報通信工事、環境関連工事は増加
- ・一般電気工事、電力その他工事は減少
- ・受注高は順調に推移しているが、受注時の採算は厳しさを増している

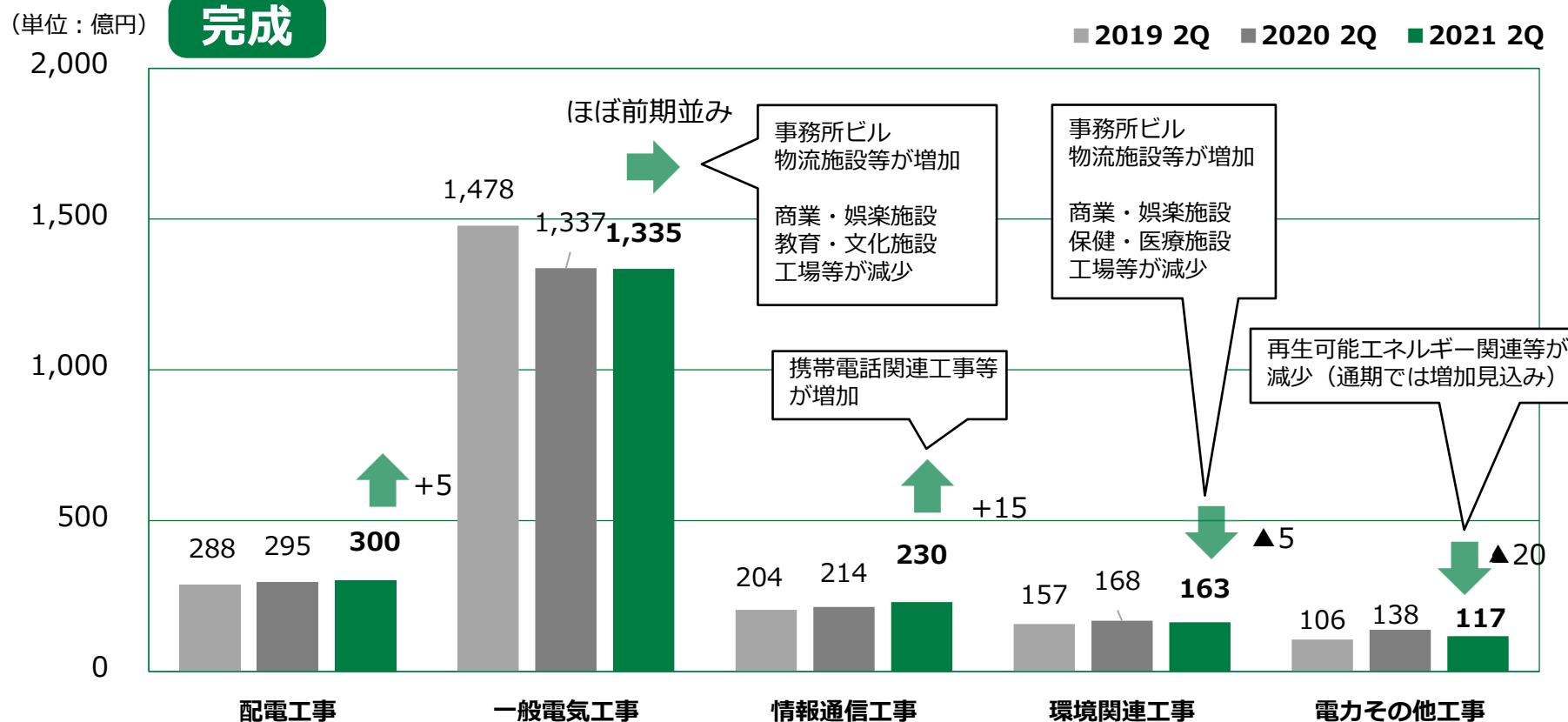


(6) 【個別】工事種別の状況（完成）

- 配電工事、情報通信工事は増加、一般電気工事はほぼ前年並み
- 環境関連工事、電力その他工事は減少

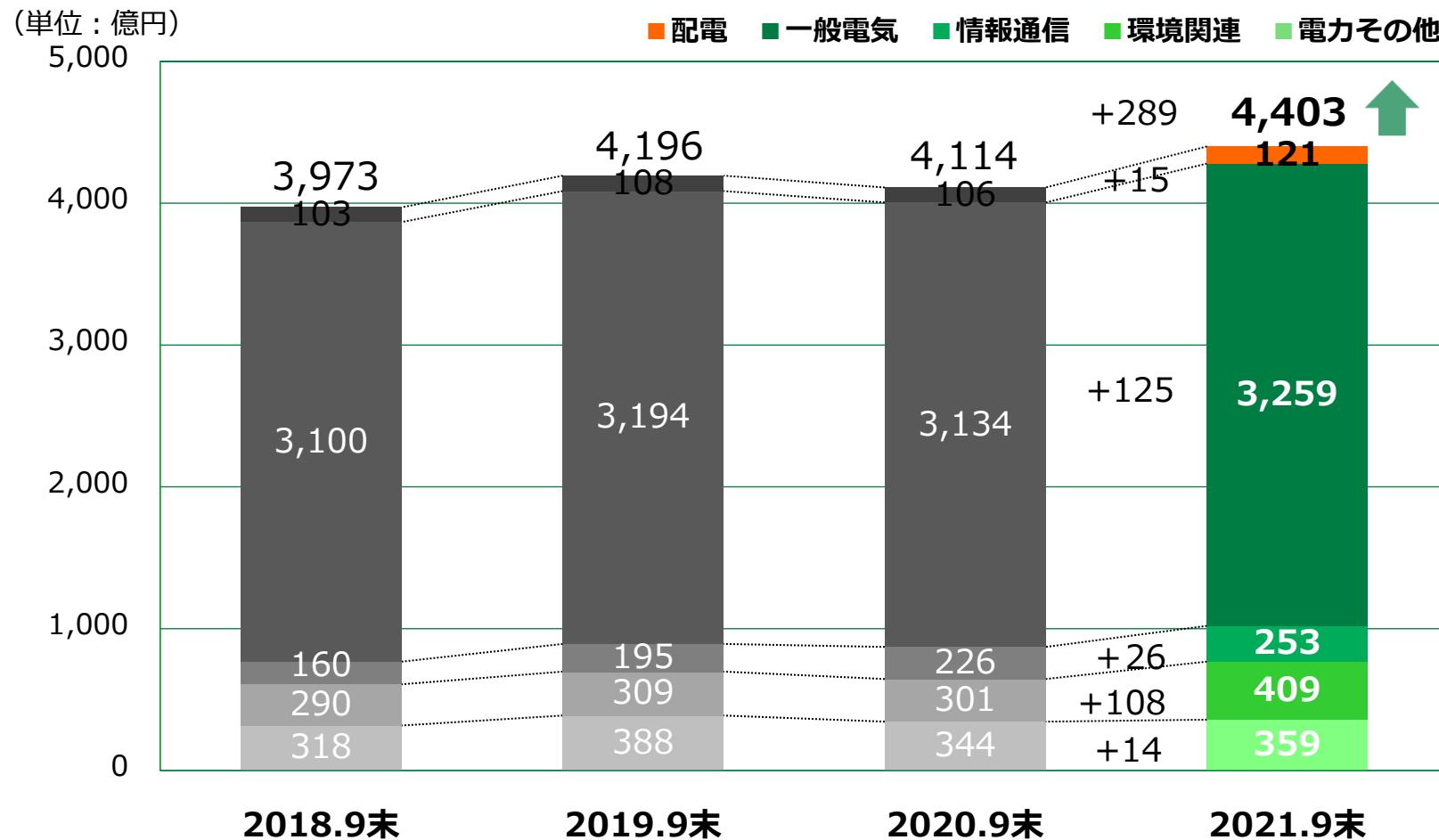
◇ 完成工事総利益率の順位（工事種別）

①情報通信 > ②電力その他 > ③配電 > ④一般電気 > ⑤環境関連



(7) 【個別】工事種別手持工事高の状況

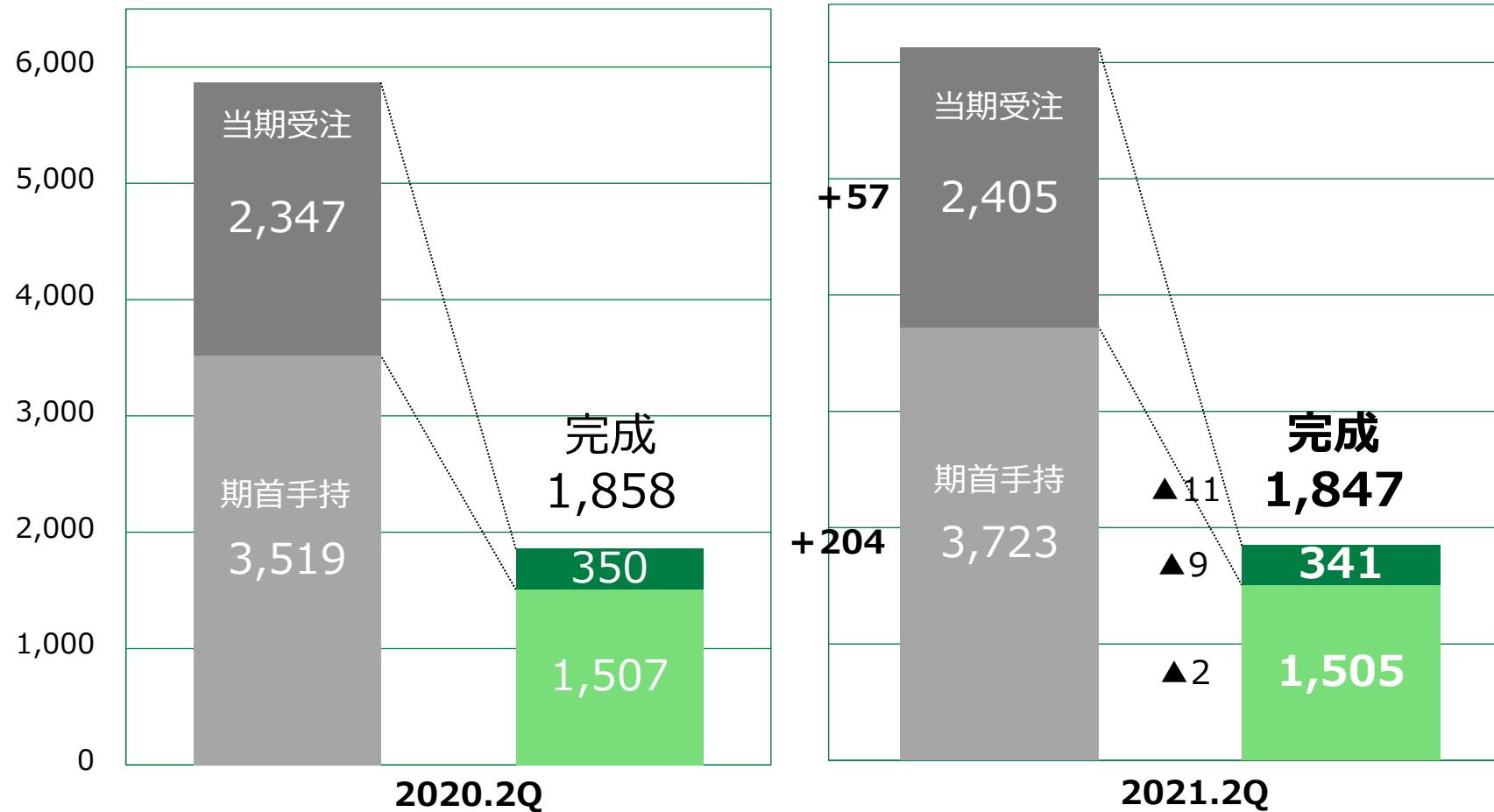
- 手持工事高は前年同期末より289億円増加
- 高い水準を維持しているが、手持工事利益率は若干の低下傾向



(8) 【個別】完工工事高 受注時期別 (配電工事を除く)

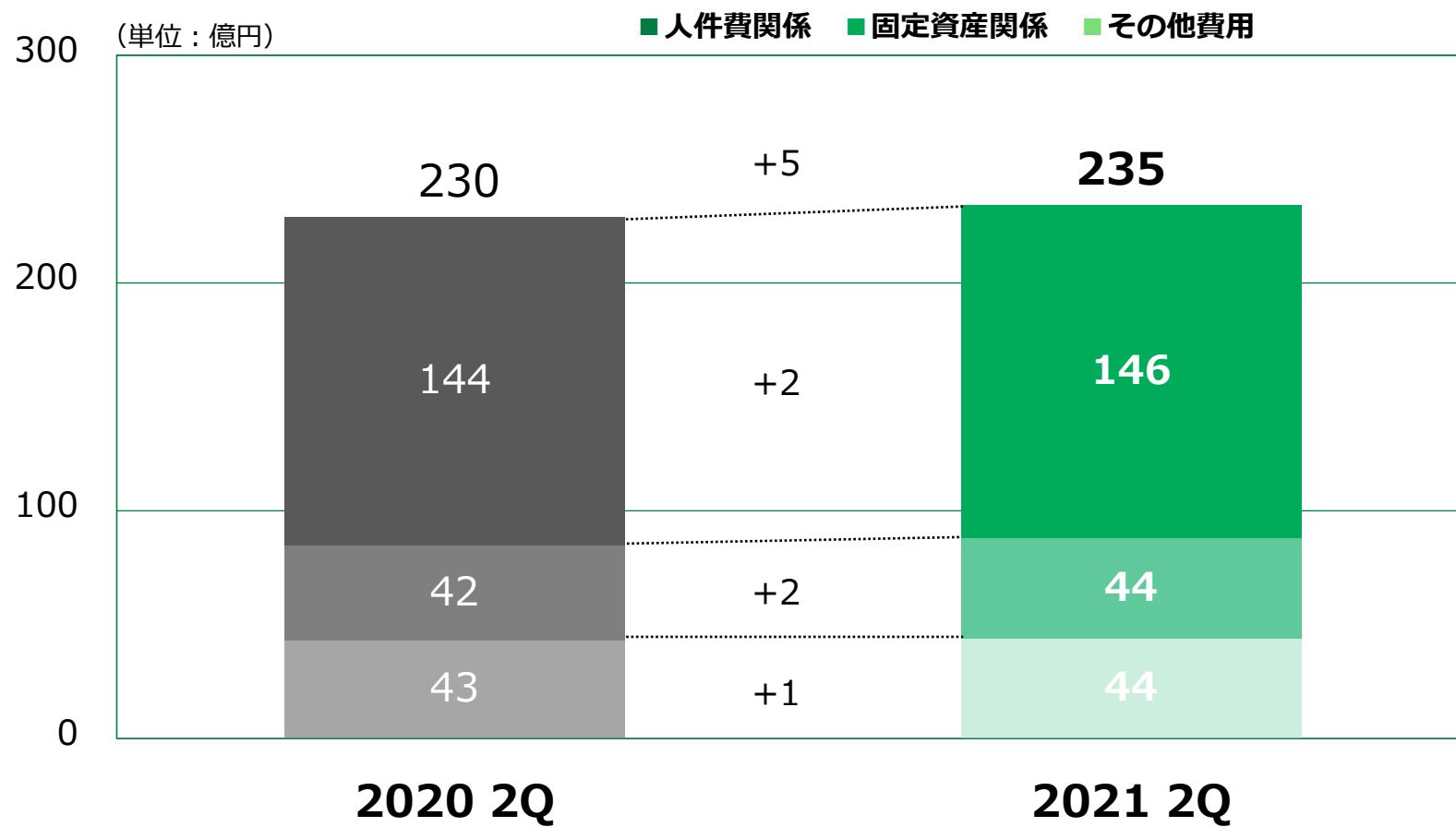
- 期首手持からの完工工事高は、2億円減少 (1,507 → 1,505億円)
- 当期受注からの完工工事高は、9億円減少 (350 → 341億円)

(単位：億円)



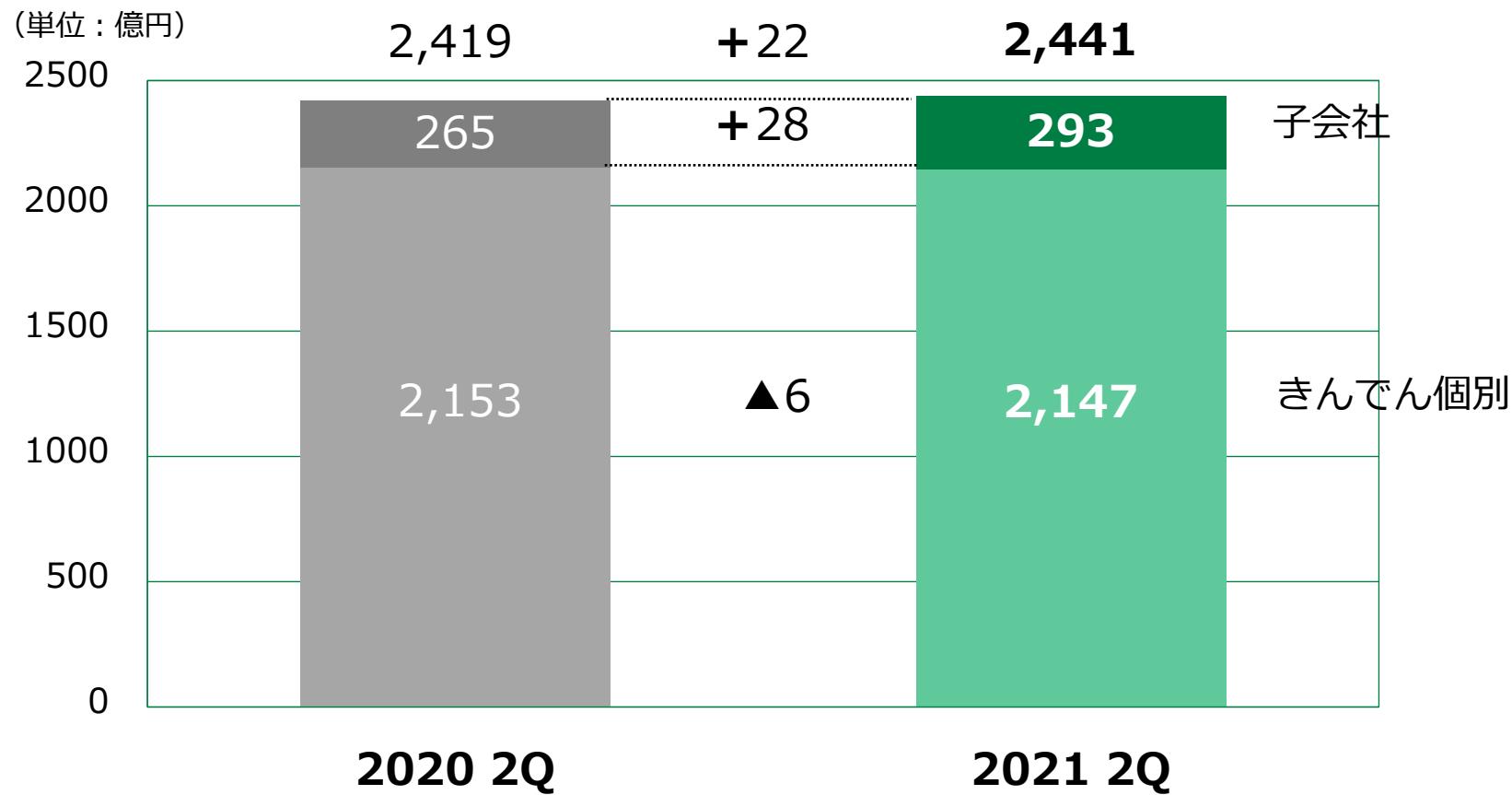
(9) 【個別】販売費及び一般管理費の状況

■前年同期より5億円増加



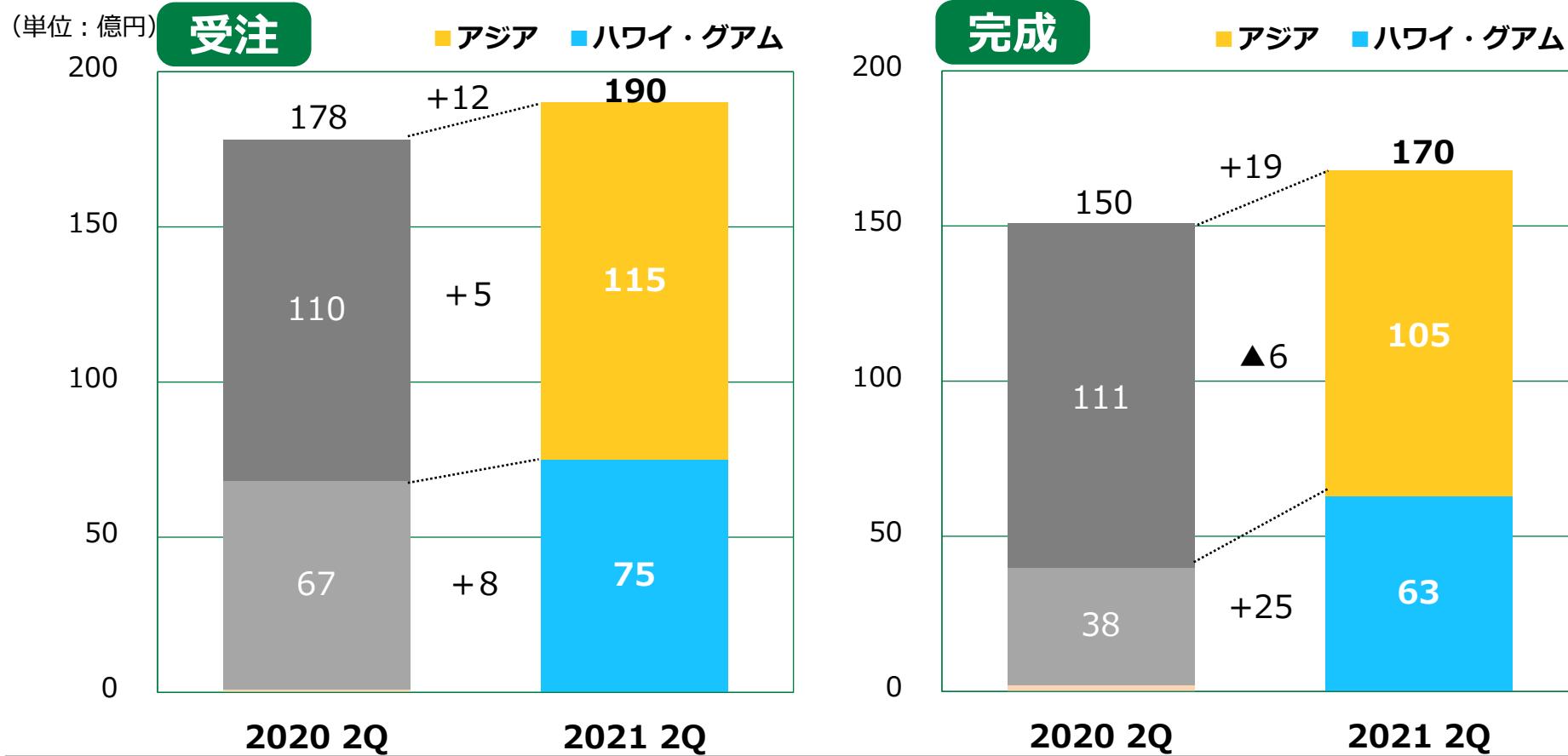
(10) 【連結】 完成工事高の増減

- 前年同期から22億円の増加
 - ・きんでん個別が 6 億円減少
 - ・子会社は28億円増加 (ワサ(ハワイ)+20億円、FEN + 10億円、タイランド△11億円)



(11) 【連結】海外受注・完工工事高の状況（地域別）

新型コロナウイルス感染症の影響について、ハワイ・グアムは工事中断等の影響はほぼ無いが、アジアは影響が大きく、前期から厳しい状況が続いている

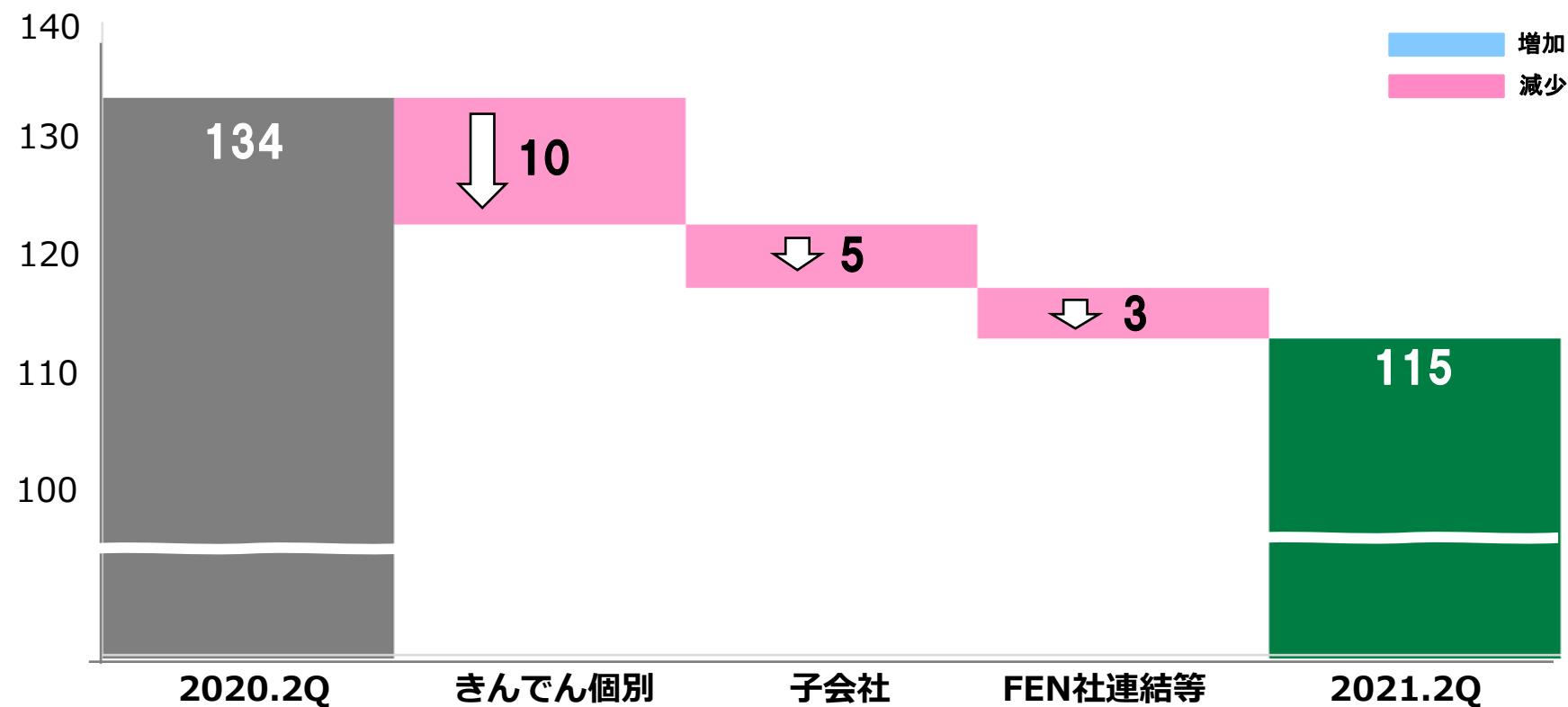


(12) 【連結】 営業利益の増減

■ 前年同期から19億円減少

- ・きんでん個別が10億円減少
- ・子会社の営業利益が5億円減少
- ・FEN社の連結に伴う株式取得関連費用、のれん償却費等で、販管費が3億円増加

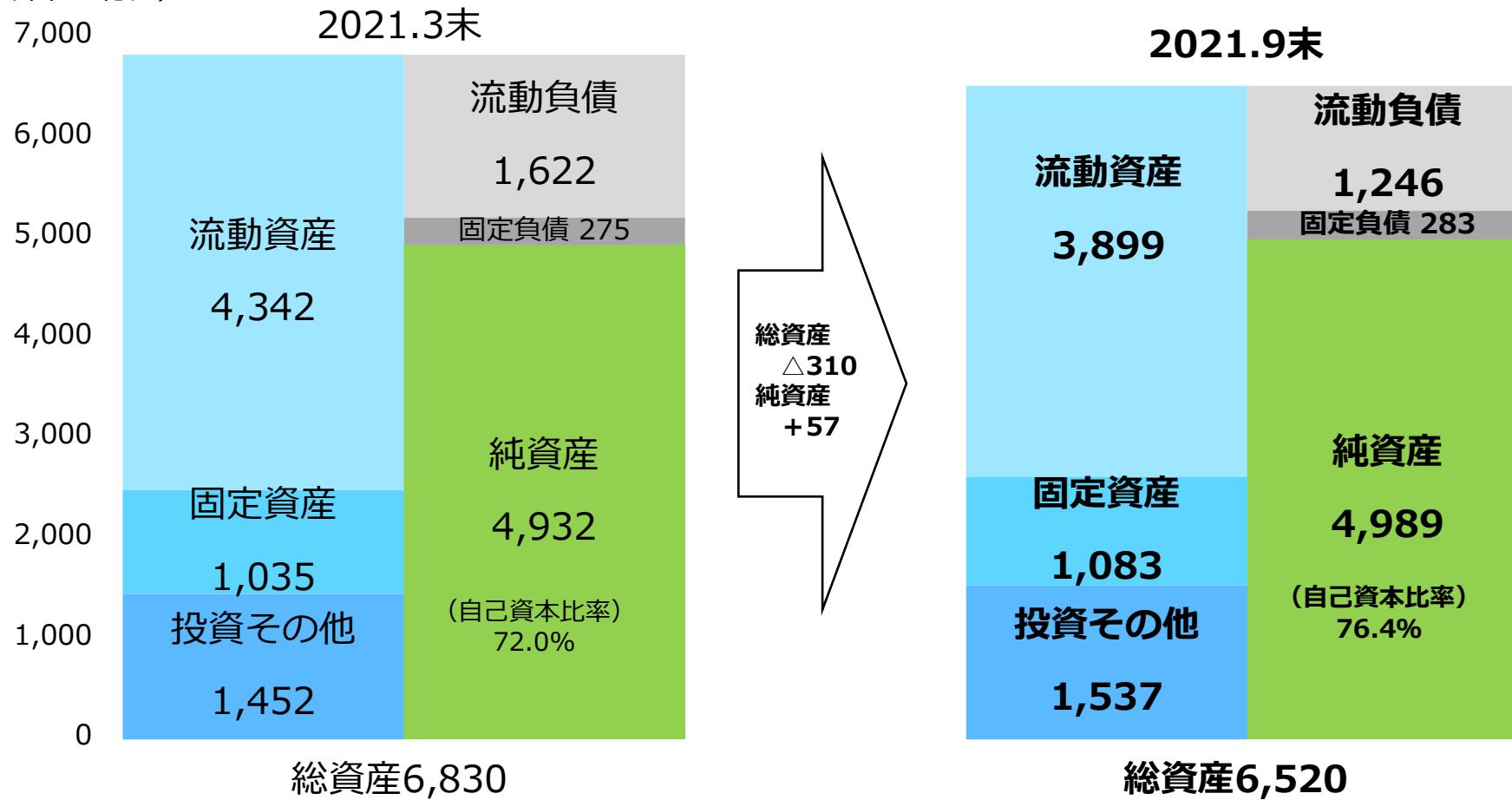
(単位：億円)



(13) 【連結】貸借対照表の状況

前期末と比較し、総資産は310億円減少、純資産は57億円増加し、自己資本比率は76.4%となった

(単位：億円)



(14) 【連結】キャッシュ・フローの状況

前年同期との比較では、営業CFはキャッシュ・インが増加、投資CFは子会社株式の取得等によりキャッシュ・アウトが増加、財務CFは前期の自己株式取得の反動によりキャッシュ・アウトが減少した

(単位:億円)

	2020.2Q	2021.2Q		前期比較
	実績	実績	主な内容	
営業活動によるキャッシュ・フロー	130	147	税引前利益の計上 +132 売上債権の減少 +499 仕入債務の減少 △163 法人税等の支払 △113	キャッシュインが増加 +16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 53	固定資産の取得 △29 子会社株式の取得 △45	キャッシュアウトが増加 △28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 122	△ 46	配当金の支払 △38	キャッシュアウトが減少 +76
現金及び現金同等物の増減額	△ 19	50		+69 ↑
現金及び現金同等物の期末残高	1,470	1,741		+270 ↑

3. 業績予想

(1) 【連結】通期予想

■ 業績は想定の範囲内で推移しており、期首発表の業績予想から変更なし

	2020	2021予想	差額	(単位:百万円)
率				
完 成 工 事 高	556,273	548,000	△ 8,273	△ 1.5%
営 業 利 益	42,948	36,600	△ 6,348	△ 14.8%
営業利益率	7.7%	6.7%	△ 1.0	–
経 常 利 益	44,794	38,700	△ 6,094	△ 13.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	32,356	26,300	△ 6,056	△ 18.7%
1株当たり当期純利益	156.46 円	128.33 円	△28.13 円	

(2) 【個別】通期予想

■ 業績は想定の範囲内で推移しており、期首発表の業績予想から変更なし

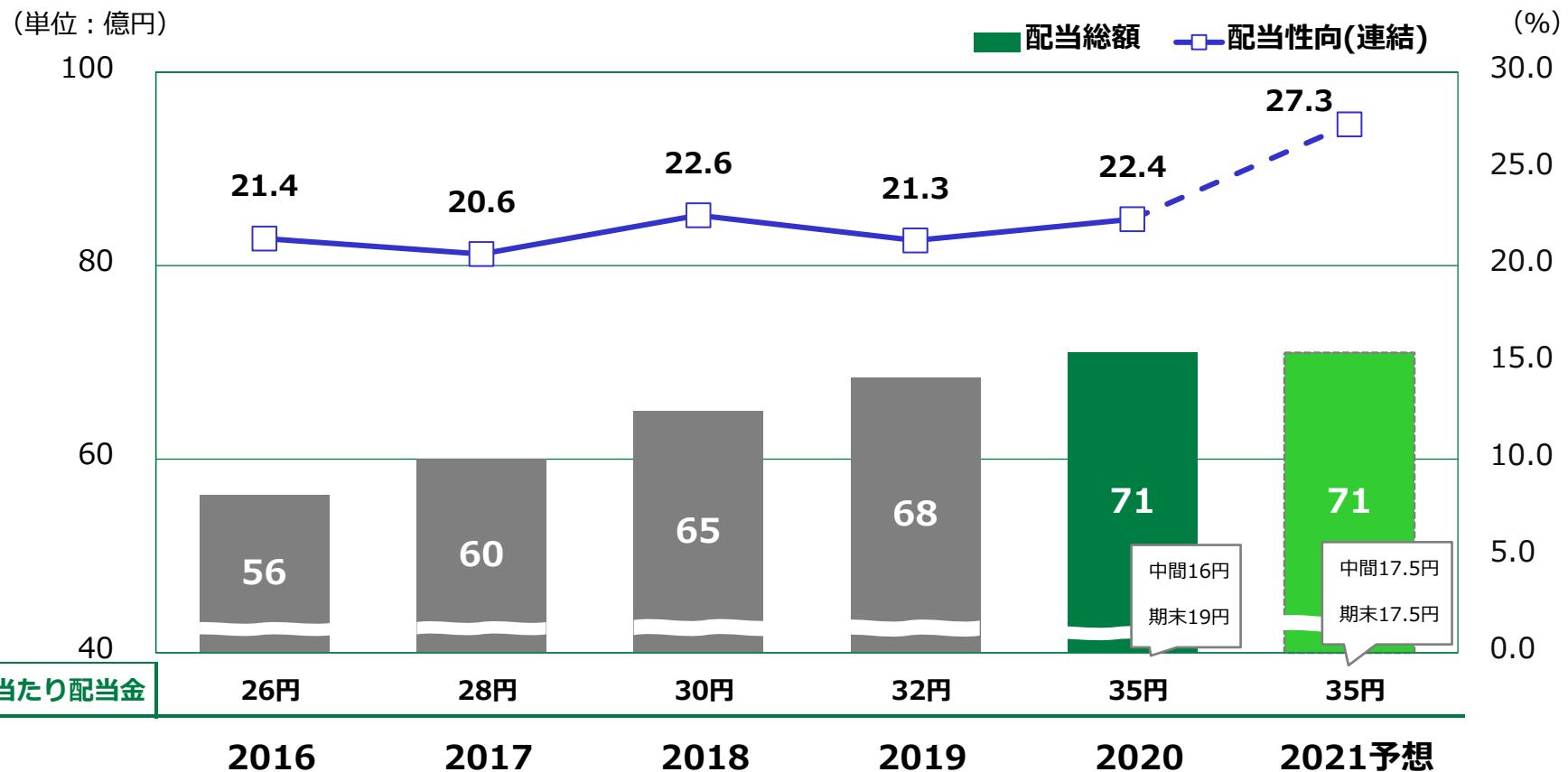
	2020	2021予想	差額	(単位:百万円) 率
受注工事高	507,222	490,000	△ 17,222	△ 3.4%
完成工事高	486,705	475,000	△ 11,705	△ 2.4%
営業利益	37,496	32,000	△ 5,496	△ 14.7%
営業利益率	7.7%	6.7%	△ 1.0	–
経常利益	41,541	36,000	△ 5,541	△ 13.3%
当期純利益	31,065	25,000	△ 6,065	△ 19.5%
1株当たり当期純利益	150.22 円	121.98 円	△ 28.24 円	

4. 株主還元

配当について

配当方針

株主各位への利益配分は経営の重要課題の一つと位置付け、安定的かつ継続的な配当を基本方針とし、業績及び財務の状況を踏まえて実施していく。



5. 參考資料

トピックス

再生可能エネルギー、次世代情報通信工事の 受注拡大へ

当社は、2021年7月30日に株式会社フジクラエンジニアリング(本社／東京都江東区)の発行済株式の全てを取得しました。同社は、商号を「株式会社 F E N」(趣意：Future Energy & Network)に変更し、きんでんグループの一員として新たにスタートしました。

F E Nは、電力エンジニアリング事業や、通信エンジニアリング事業において、設計から機材調達、施工まで行うエンジニアリング会社で、電力会社や通信事業者を顧客基盤とし、高い施工品質や豊富な施工実績により、安定的な経営基盤を確立しています。

当社は、今後成長が期待される再生可能エネルギー関連工事市場や、次世代情報通信関連工事市場において、同社と経営資源の相互補完・共有・活用を図ることで、「社会インフラを支える企業」として持続的成長・発展し、「環境に優しい、持続可能な、より良い社会」の実現に向け貢献していきます。

会社概要

商 号：株式会社 F E N
所 在 地：東京都江東区木場二丁目7番23号第一びる本館
設 立：1994年5月
資 本 金：2億円(2021年9月末現在)
代 表 者：代表取締役社長 丹正之
事業内容：電気・情報通信関連工事
売 上 高：5,675百万円(2021年3月期)
従業員数：107名(2021年9月末現在)



「社会インフラを支える企業」として持続的成長・発展を誓う
上坂隆勇社長(右)とF E Nの丹正之社長(左)



本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

■ I R に関するお問い合わせ

株式会社きんでん I R ・ 広報部 I R チーム

〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号

電話：06-6375-6026